

さきたま

2026年5月号(56号)



Contents

所長よりごあいさつ	P.2
事務室からのお知らせ	P.3
2025年度第2学期生涯学習奨励賞授与式	P.3
生涯学習奨励賞受賞者からの寄稿	P.4
2026年度第1学期入学者の集い	P.5
埼玉同窓会35周年 ・埼玉CSC交流会20周年記念事業	P.5
2025年度学生研修旅行	P.6
イベント情報	P.7

所長よりごあいさつ



「黒い白ビール」



埼玉学習センター所長・特任教授 川又 伸彦

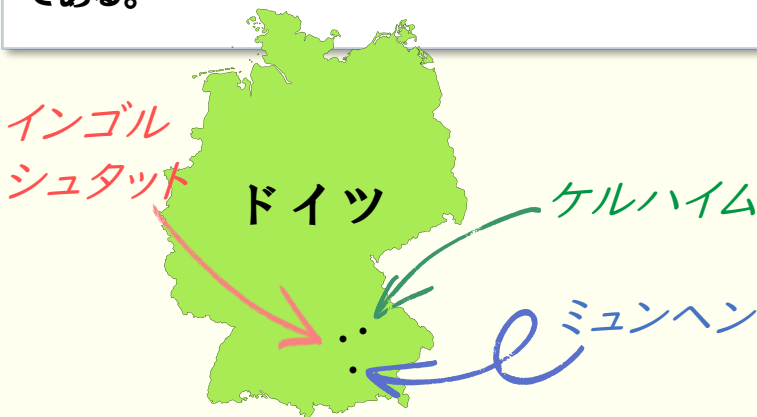
バイエルンの州都ミュンヘンから特急列車ICEで1時間ほど北上すると、名車アウディのふるさと、インゴルシュタットに着く。19世紀初めに、ここにボンシャープというビール醸造業者がいた。彼は、17世紀半ば以降ミュンヘンとケルハイムという町の業者にのみ認められていた「白ビール」醸造の許可を当局に申請した。しかし、当局が認めなかったために、「憲法異議」という人権救済手続きを用いて救済を申し立てた。

事件記録によれば、白ビール醸造がケルハイムにも認められていた理由の一つは、1050年に創業し、今日まで続いている世界最古の修道院醸造所ヴェルテンブルクがあることらしい。さらに事件記録を読み進めると、ボンシャープに「白い白ビール」のほかに、「黒い白ビール」の醸造も認めてはどうかという議論に出くわした。「黒い白ビール」？

ドイツ語で黒い白ビールは「dunkles Weissbier」である。「dunkel」（名詞に着くと語形が変化する）は、英語のdark、つまり暗色とか黒っぽいという意味であり、weissはwhite、つまり白を意味する。日本ではdark beerは「黒ビール」だから、直訳すると「黒い白ビール」となる。実は、事件記録の別の箇所では、白ビールを小麦ビール（Weizenbier）と言い換えていた。つまり、「黒い白ビール」とは「黒い小麦ビール」なのであった。ちなみに、通常のビールは大麦から作る。（なお、ボンシャープの異議は手続きの不備で退けられた。）

人権救済制度を研究する中で、ビールの種類や歴史の一端も調べるようになった。本題とは別のことで思わぬ「発見」があることも、研究の面白みの一つである。みなさんも、卒業研究や修士・博士論文作成を通じて、本題以外のテーマで遊んでみてはいかがであろうか。

次の渡独の折に、ケルハイムで白ビールについて「現地調査」をするのが楽しみである。



事務室からのお知らせ



① 埼玉学習センター所属の学生へ、「**学習センター利用の手引き**」冊子や、**学生生活の参考資料**を4月末～5月初旬頃にご自宅に郵送しました。ぜひご覧いただき、ご不明点があればお問合せください。
※「学習センター利用の手引き」は、[埼玉学習センターウェブサイト](#)にも掲載。

② 今年度より、**自宅受験の方には「単位認定試験受験票」は郵送されません**。受験資格は6月下旬頃[システムWAKABA](#)で公開されますので、ご自身でご確認ください。

③ 「**学生生活の菜**」は、今年度より紙冊子では配付せず、[大学ウェブサイト](#)にて閲覧いただく形となりました。何かと頼りになる冊子ですので、ぜひご活用ください！



④ 「**面接授業時間割表(各ブロック版)**」は、2026年度第2学期より、紙冊子は廃止となります。次学期の面接授業科目選びの際は、[シラバス検索](#)にて授業内容をご確認ください。
(紙冊子希望の場合は、所定の手続きが必要です。手続き方法は、7～8月頃に本部よりご自宅に送付される「**面接授業開設科目一覧(全国版)**」をご覧ください。)



⑤ 今年度より、埼玉学習センターは**閉所日週2日制**となりました。来所前に「**学習センター利用の手引き**」や、[センタースケジュール](#)をご確認ください。

<閉所日>
4～7月・10～1月：月・火曜日 / 8・9月・2・3月：日・月曜日
その他、祝日、年末年始、臨時閉所日があります。



生涯学習奨励賞授与式



2026年3月20日、埼玉学習センター所属の156名が卒業・大学院修了を迎え、内36名に、3月22日、埼玉学習センターから生涯学習奨励賞が授与されました。



おめでとうございます！

2025年度第2学期 生涯学習奨励賞受賞者 (敬称略)

- 【金剛賞】 板山 正美、加藤 裕、田口 京子、奈尾 博子、畑中 博、吉富 進 [他1名]
- 【金賞】 是村 雅一、須藤 稔、鳥井 信吾
- 【銀賞】 河野 美貴、佐藤 由美子、関田 真澄、中村 文彦、長谷部 典子、増山 一豊 [他3名]
- 【銅賞】 荒木 浩子、石関 由男、及川 心くみ、大橋 長子、河口 憲二、倉澤 知裕、鈴木 謙司、田丸 盛夫、西澤 一成、福元 薫、星 照雄、細淵 久美子 [他5名]

生涯学習奨励賞 金剛賞受賞者からの寄稿

「感謝」

板山 正美



この度は「金剛賞」を賜り、誠にありがとうございます。1986年に放送大学へ入学し、看護師として働きながら学びを始めました。入学のきっかけは、医療が日進月歩で進む中、看護師として様々な方と向き合えるよう、社会人としての教養を身につけたいと思ったことでした。仕事、家庭、子育てに追われ、学びから遠ざかった時期もありましたが、振り返れば、学びの中で「そういうことだったのか」と腑に落ちる瞬間が何度もあり、それが学び続ける力になりました。この道のりを温かく見守り、支えてくれた妻と家族に、心から感謝しております。

「卒業を迎えて」

今尋 夢見（ペンネーム）

「米百俵」の長岡で高校卒業後上京、霞が関で20年間奉職、育児の為に退職してしばらく経った2003年、子供の手本にと「人間の探究」に入学。5年後卒業時、学ぶ楽しさに目覚め以後、できるだけ長く在籍をと考え、環境抜群のセンターでの視聴を柱に、驚馬に鞭打ち今年、金剛賞拝受に至りました。

今まで続けられたのは、家族の応援・センター同好会の存在・お世話になった職員の皆様・その他八百万の御蔭と感謝しております。

デジタル社会の荒波の中、今後は選科履修生として、温故知新を実践していく所存です。

一宇宙船地球号の一員として一

加藤 裕



このたび図らずも13年間で生涯学習奨励賞「金剛賞」の荣誉に浴しました。ひとえに大学関係者の皆様のご支援と妻の協力の賜物です。

現役リタイア後放送大学に入学したのは、趣味の音楽や美術等芸術関係の基礎基本を体系的に学びたかったからです。魅力的な授業のおかげで知らない世界を知ることの面白さにのめり込み、それが異分野にも広がり、次から次へと点が線、線が面になっていく楽しみにハマりました。生きるとは学ぶことそのものです。今後は選科履修生として新たな学びを続けたいと思っています。

なお、2017年に学生による合唱団でベートーヴェンの第九を歌った感激は一生の思い出の一つです。

奈尾 博子



この度は金剛賞を賜り、誠にありがとうございます。放送大学には2012年に入学し、14年間に在籍いたしました。在学中には認定心理士や学芸員資格を取得し、面接授業を通して絵画や太極拳など新たな世界が広がりました。また、市のボランティア活動や新水墨画協会の役員として学びを活かす場にも恵まれました。特に昨年、面接授業で訪れた尾瀬の風景を描いた水墨画を公募展に出品したことは、大きな励みとなりました。放送大学は、学びを通して新しい自分や仲間に出会える場です。これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

「知る喜びと学びの楽しさを 続けてみて」 畑中 博



放送大学の教養学部は、幅広い分野を横断的に学べる点が大きな魅力でした。知る喜びと、学びの楽しさに魅せられ、あっという間に教養学部の6つのコースを修了しました。面接授業や学生研修旅行の実践的な学びや楽しい経験ができ、大学生を満喫できました。

放送大学で得た知識と経験を活かし、ふるさとの歴史を巡る企画・運営に取り組み住民と交流しながら、ふるさとの新たな魅力を発見する喜びを感じています。今後は「放送大学エキスパート」の科目群履修認証制度にチャレンジし、歴史学の知見をさらに深めていきたいと考えています。

「放送大学での学びを振り返って」

吉富 進



資格試験に挑戦中の頃、放送大学のことを新聞広告で知り、少しでも試験の助けになればと、2001年4月に入学し、試験に関係ありそうな科目から始めました。試験が一段落した後は、履修中に様々な分野の多岐にわたる科目に接し興味が湧き、学び続けることにしました。興味あつての継続でしたが、暫くはリタイアのことを考える時もありました。2006年に導入された放送大学エキスパートは、認証状取得を目指すことで卒業単位修得にもなるため、効率的で体系的な学習もできると思い、その後の履修目標にしました。目標が明確になり、長期の継続に繋がりました。この度の金剛賞受賞を励みに学び続けたいと思います。在学中、皆さんとの多くの交流の場がありながら、行動が伴わず、活かしきれなかったことを、今残念に思っています。お世話になった大学関係者の皆様に感謝申し上げます。

入学者の集い

2026年度第1学期、埼玉学習センターでは1173名の入学者を迎えました。2026年4月4日に開催した「入学者のつどい」には約120名が参加し、皆さん、それぞれの思いを胸に式に臨まれていました。また、式後には、学生団体が企画したサークル紹介や先輩学生との懇談会に参加する方も多くいました。



埼玉学習センターウェブサイトにて、初めて入学した学生向けのガイダンス動画を公開中！



埼玉同窓会35周年・埼玉CSC交流会20周年記念事業



↑加藤副学長による講演

←川又所長による講演

2026年3月1日、放送大学埼玉学習センターにて「埼玉同窓会35周年・埼玉CSC交流会20周年記念事業」が開催されました。この事業は、埼玉同窓会と埼玉CSC交流会が、それぞれの創立の節目を記念して開催したものです。加藤副学長による「町で生物観察」、続いて川又所長による「憲法と時間」と題した講演の他、サークルによる活動成果の発表等、様々な催しが実施されました。

学生研修旅行

～「生物多様性を学び、埼玉県の希少生物を知る」～

2025年10月30日、羽生水郷公園(埼玉県羽生市)への学生研修旅行を催行し、26名の学生が参加しました。

羽生水郷公園には、野生での絶滅状態から野生復帰を果たした「ムジナモ」が生息しています。午前中は、公園内にあるさいたま水族館の飼育員の方より講義を受け、淡水魚がメインという水族館の活動、特徴などについて教えていただきました。この日は天候にも恵まれ、お昼の休憩時には園内の自然を満喫する参加者の姿が見られました。

続いて午後にはさいたま水族館にて、展示だけではなくバックヤード見学も体験させていただきました。飼育員の方々から、希少種の魚やムジナモが絶滅することがないよう、どのように工夫しながら飼育しているのかといった説明を受けながら、普段は立ち入ることのできない場所で、たくさんの魚や植物が育成されている様子を間近で見せていただきました。



参加者の感想紹介

水族館のバックヤードを見るのは初めてだったので、楽しかったです。説明も丁寧でわかりやすいものでした。ムジナモの保護活動については、生息地の現場で実物を観察しながらの説明だったため、よりリアルに話を伺うことができました。

体を小さく縮めて水に沈み冬眠するという生体には驚きました。ムサシトミヨ(淡水魚)の話も興味深かったです。実物をみたのも初めてでした。バックヤードで、手間をかけて繁殖に取り組んでいる水族館スタッフの内容を知る貴重な機会でした。(Sさん)

現在、埼玉県では93種の魚がみられるという。水族館は展示ばかりでなく、水族館同士の連携による域外保存等、種の保存の役割が一層大事になってきていると理解できた。

実父が川釣りを趣味にしていたので、子供達(孫)も幼い頃から県西部の名栗川などで釣りを覚えオイカワ・タモロコなど釣っては家の小さな水槽に入れていた。体験的に釣れる川の様子など理解していった。これからの子供達にもぜひ“川とのつながり”を埼玉ならではの身近な自然の大切さを身体で感じてもらいたいと思う。(Nさん)

2026年度の学生研修旅行は、現在企画中です。

詳細が決まり次第、埼玉学習センターウェブサイトに掲載します！

イベント情報

Web単位認定試験 体験会

今学期のWeb単位認定試験に備え、ご自宅等で体験版をうまく操作できなかった方や、インターネット環境の無い方を対象に、学習センターのパソコンを用いて操作練習をしていただく「**体験会**」を開催します。Web単位認定試験の操作に不安のある方は、ぜひ体験会にご参加ください。

【2026年7月9日(木)～7月12日(日) 14:00～16:00】 ※予約不要



卒業研究ガイダンス

2027年度に卒業研究の履修を希望する学生を対象に「**卒業研究ガイダンス**」を開催します。

【2026年6月27日(土) 13:30～15:00】

申込方法等詳細は、[埼玉学習センターウェブサイト](#)をご覧ください。




客員教員によるサロン

埼玉学習センターでは、所属教員によるミニセミナー「**サロン**」を開催しています。開催情報は、[埼玉学習センターウェブサイト](#)にて随時更新しています。ぜひお気軽にご参加ください！

<昨年度開催実績>

- サロンえぐち (江口幸治 先生 専門:民法)
- サロンかわむら (河村ちひろ 先生 専門:社会福祉)
- サロンこざわ (小澤基弘 先生 専門:絵画、絵画教育)
- サロンたなか (田中信行 先生 専門:気象学、防災気象学、気象災害)
- ケムサロン (廣瀬卓司 先生 専門:有機化学、高分子化学、身のまわりの化学)
- サロンはまなか (濱中真人 先生 専門:中小企業論)



 **放送大学** 埼玉学習センター
〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル(受付10F)
TEL 048-650-2611
Eメール:saitama-sc@ouj.ac.jp

[埼玉学習センターウェブサイト](#)



【ご注意】2026年4月より、閉所日週2日制となりました。

来所前に[センタースケジュール](#)にてご確認ください。

<閉所日>

- ・4～7月／10～1月：月・火曜日
- ・8・9月／2・3月：日・月曜日
- ・祝日、年末年始、臨時閉所日

